

法人東京電機大学校友会 千葉県支部だより

第13号

平成22年5月1日

校友会事務局
東京都千代田区
神田錦町2-5-1
TEL 03-5289-3512
FAX 03-5280-3562

支部だより第13号発行にあたり

支部長 松本 宏

校友会千葉県支部の皆様には益益ご健勝にてご精励のこととお喜び申し上げます。この度、「支部だより第13号」をここに、発行する運びとなりました。

これは関係各位及び諸先輩方のご指導・ご協力の賜物であり、ここに改めて厚く御礼申し上げます。

さて、今年は「寅年、十二支の第三支で「丑」の次です。「丑」は一歩前に出ると後ろへは下がらない動物で、着実に前進します。それに対して、「寅」は早起きで「一日で千里を走る」動物と言われています。一方、わが国では政権が変わり、変化とスピードが要求されています。そして、母校は創立100周年を終え、次の100年を目指して超スピードで「東京千住キャンパス」の建設に着手しました。我々卒業生はそれを「我々の誇り」として、奉仕の精神で、最大限の応援をしてゆきたいものです。

次に今回の支部だよりは加藤学園理事長様、石塚校友会理事長様と経営企画室様にその寄稿をお願いしました。更に新しい会員の投稿もいただきました。

今年の千葉県支部総会は第40回を迎えます。支部の方針としては、1. 役員の変更がありません、特に若手の登用です。2. 三大支部長（埼玉・神奈川・千葉）懇談会の継続です。週日、その第二回目を森井組織管理委員長・

ご挨拶
学校法人東京電機大学 理事長 加藤 康太郎

校友会事務局長を交えて実施しました、各支部の成功例を参考に、意義ある会にと、思っています。3. 支部会員の増強 4. 学園創立100周年事業への協力は今後共、継続してゆきます。次に昨年度の見学会は11月13日（金）、日本最大級の富津火力発電所を東電案内バス定員の25名で実施しました。お陰様で規模の大きさ・内容のある説明、そして懇親会の盛り上がりでは、来年もやれ！の声に幹事の一人として、感謝しております。

今年の千葉県支部総会時の公開講演は「気を科学する」と題して母校の名誉教授・工学博士の町好雄先生にお願ひ致しました。気功法は病気に罹らない為だけでなく、健康法として、今や中国から、日本を含め世界中に広まりつつあります。是非、大勢のご参加をお願い致します。千葉県支部は、今後共、会員各位のご意見を基に「支部役員が一致協力」して、全国支部の中でも、最も充実して活気のある、そして、楽しめる支部になるよう、一層努力して参る所存であります。今後共、会員並びに関係各位のご指導・ご協力を切に願ひ申し上げます。終わりにあたり、千葉県支部会員各位のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます。支部だより第13号発行にあたっての挨拶に代えさせていただきます。

校友会千葉県支部の皆様におかれましては、松本宏支部長のもと日頃から講演会や見学会をとおして、会員相互の親睦と研鑽に励まれますとともに、学園の発展にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、学園は、足立区北千住駅前への東京千住キャンパス創設に係る建設工事を本年2月に着工し、平成24年4月の開設に向けて全学を挙げてその計画を遂行しております。東京電機大学の次の100年の歴史と文化を新キャンパスで創成できること、また足立区の進める新たな街づくりに本学が参画していけることは、本学にとって千載一遇のチャンスと考えております。多くの卒業生が巣立った神田の地から離れることは残念ですが、だからこそ、余りある成果を出していきたいと考えています。

創設理念には「DOLLネットワークと進化」を掲げ、教育、技術、地域の3つのキーワードを柱に構成しています。敷地面積は神田キャンパスのおよそ1.8倍で、そこに工学部・未来科学部・工学部第二部、関連大学院等を展開します。そのゆとりあるキャンパスに、約5,000名の学生が学ぶ計画です。教育・研究の新たな取り組みも着々と準備が進んでおり、名実ともに、100年に一度の学園の一大事業といえます。皆様にはこれまで同様、母校の発展を温かく見守っていただきたいと切に願っております。

皆様方におかれましては、何卒この趣旨をご理解いただきまして、格別なご支援・ご賛同を賜りますようお願い申し上げます。最後に、千葉県支部と会員の皆様のご発展とご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶いたします。以上

千葉県支部の「ご挨拶」

支部だより第13号「ご挨拶」
（株）東京電機大学校友会 理事長 石塚 昌昭

千葉県支部の皆様には、日頃より校友会活動にご理解とご支援を頂きありがとうございます。おかげさまで校友会も昨年10月17日に多くの皆様に参加をいただき「校友会創立100周年記念式典」をさせていただきました。今日まで先輩方が築き上げてきた足跡に敬意を払うとともに、今後も良き伝統を継承していく、誓いも立てさせていただきます。今年に入ってから、3月18日に日本武道館で、大学院修了式、大学卒業式が行われ、2126名の新たな卒業生が生まれました。東京電機大学の卒業生は、累計で、19万7千名となります。しかし、現下の厳しい経済情勢の影響を受けて、200名近い学生諸君が就職活動をしているとのことです。就職斡旋の機会がありましたら、支援をお願いいたします。

卒業式では、校友会としての祝辞を述べる場を頂きましたので、その中で、校友会支部の活動状況なども紹介もさせて頂きました。特に、転勤などで地方赴任になった場合には、支部への会合に参加すると、生の地元情報も得られる旨の話もさせて頂きましたので、新人が参加した場合には、支部の皆様よろしくご指導お願いいたします。

平成22年度の校友会事業計画と予算については、理事会の審議が完了しましたので、総会での承認を得て実施することになります。

東京千住キャンパス 100周年記念キャンパスのご紹介

経営企画室

今年度は、校友会会員へのサービス強化の一環として、新たにA4版で発行された工学情報誌の充実、卒業生バックアップセンター増強、会費納入の利便性などを進めたいと思います。校友会活動については、遠隔地域の支部活動の活性化として、県支部連絡協議会が九州ではスタート致しましたので、ほかの地域での展開も進めていきたいと思えます。職域電機会も現在70団体となりました。今期は特に、技術の国家資格である技術士資格をお持ちの会員の団体の立ち上げを考えております。その節は、ご協力よろしくお願ひいたします。

学園は、今後100年を見据えて東京千住キャンパスの創設事業、大学のビジョンとして、東京電機大学ブランドデザインの具現化に向けた施策を進めております。2月9日には、起工式が行われ、平成24年4月の開校をめざして建設工事が始まりました。進捗状況などは、工学情報または校友会ホームページで紹介してまいります。

校友会も募金活動などを通じて支援していきたいと思えますので、支部の皆様にも、ご理解、ご協力よろしくお願ひいたします。法人移行については、国の公益法人制度改革にもなう新法人への移行が、平成25年11月30日までに移行手続きを完了させなければなりません。法人移行準備委員会、この一年課題の検討に取り組んできましたが、今年度は、校友会定款変更などの具体的な手続きをスタートすることになると思えます。

校友会としてもいろいろ課題はありますが、社会で活躍されている電大卒業生に役立つ活動を進めて、学園の支援に貢献出来ればと考えております。校友会千葉県支部のますますの発展と、会員のみならず、ご家族のご多幸を祈念申しあげ、ご挨拶いたします。



【ご挨拶】 本学は、新キャンパスを交通至便な足立区北千住駅東口前に創設することを平成20年6月に決定しました。これは次の100年を見据え、教育・研究のさらなる充実、強化を図るとともに、狭隘で老朽化した神田キャンパスの問題を解決することを目的としたもので、「東京千住キャンパス(100周年記念キャンパス)」と命名しました。

創設理念には「TDUルネッサンスと進化」を掲げ、文化教育立区を提唱する足立区と連携し、東京スカイツリーにもほど近い東京東部エリアの新しいまちづくりの一翼を担うことが期待されております。平成21年3月には、隣接する第2期計画地(一街区)の購入も決定し、本学のさらなる発展が期待されております。

【あらまし】 本学は、東京千住キャンパスで知の継承・発展の拠点にふさわしい、学生を主役とした理工系教育の理想、新しい大学像の実現を目指してあります。神田キャンパスと比べ敷地面積は約2.5倍、延床面積は約1.2倍(第2期計画完了後は約1.6倍以上)になる予定で、ゆとりあるキャンパスになります。建物は、世界的建築家の槇文彦氏の設計により主要4棟で構成し、アトリアやロτζアとよむ交流空間や500人規模の2つのホールを設けるとともに、図書館や学生厚生施設の充実を図ります。さらにユニバーサルデザインの採用、免震、制震、非常用設備など防災機能の充実、大規模な緑化、最先端の省CO₂技術導入などを通じ、安心・安全な未来型の工科大学キャンパス実現を目指し、平成24年4月に新キャンパスを開設する予定です。どうぞご期待ください。

【概要】 住所：東京都足立区千住旭町52番

地1他(北千住駅東口徒歩1分)
開設時期：平成24年4月(予定)
学部等名称：工学部、工学部第二部、未来科学部、関連する大学院、等
収容学生数：約5,000名

その他、併設施設(地域貢献施設、産学連携施設、国際共同研究施設など)

【設計】 株式会社横総合計画事務所・マス・ターキーエクト(設計者) 統括設計・監理
株式会社日建設計 構造及び設備設計
住友商事株式会社 株式会社大林組(協力) 鹿島建設株式会社(協力)

【施工】 *詳細は特設ホームページでもご紹介いたします。
<http://www.nyushi-net.dental.ac.jp/newcampus/>

縁

常任幹事 大石 博

私は、98年の5月から04年の7月まで千葉ニュータウンに住んでいました。98年の4月に結婚し、その公団住宅を新居に選んだからです。部屋の下見に行った時、リビングルームに面した南側の窓から見える建物の壁面に3文字のアルファベットがついているのが見えました。

「TDU」電大の千葉ニュータウンキャンパスでした。「ああ、そっかといえばこだった」と思い出しましたが、実際に中に入って見る機会はありません。02年秋のある日、会社で上司から「君は電大の出身だったな、実は・・・」と校友会千葉県支部の見学会(1泊2日)に参加する様話がありました。

ある高率電設の小川重二社長(当時)から会社の東関東支社長(当時)にお話があったのだそうです。こうして、城山水力発電所と山梨リニア実験線、サントリー山梨ワイナリーの見学会に参加させて頂くことになったのです。

自分より何十年もの大先輩方との見学会は和やかな雰囲気の中に進み、宿泊先である石和温泉の旅館での懇親会席上で、小川支社長より、思いもよらぬ支部役員候補への推挙のお話を頂き、翌年6月の千葉県支部総会において御承認を受け、支部幹事を拝命する事になりました。

この時の総会会場が千葉ニュータウンキャンパスであり、初めて中に入らせて頂くことになったのです。

電大のキャンパスがある千葉ニュータウンに住むようになった事や、私の会社の御得意先である高率電設の小川社長が千葉県支部長であられ、会員名簿から私の会社名を見つけて下さった事等、様々な縁によって今の状況があるのだと思うと感謝の気持ちで一杯です。今後は、千葉県支部の益々の発展、電大の益々の発展に寄与できるよう、微力ながら一層努力させて頂く所存です。

今では、縁を取持った下さった小川前支部長、私の会社の前関東支社長、御二人とも彼岸の人となられてしまいました。あちらで顔を合わせていらっしやるでしょうか。謹んで、御冥福をお祈りして筆を置かせて頂きたいと思えます。

東京電力富津火力発電所 見学記

常任幹事 安藤 志朗

平成21年11月13日(金) 見学会開催の日、朝から天気が良くない。雨が無い事を願って、11時30分、東電指定の定員25名が揃ったので、

近くの日本料理店「宮島」のマイクロバスでお店へ。昼食前に松本支部長からの挨拶と本日のご案内があり、昼食休憩後、東電の見学用バスで、富津火力発電所へ、35万坪という広大な敷地へ入る。

最初に管理棟の会議室へ。そこで、見学時の注意事項と責任者の歓迎挨拶を受け、ピチ才説明を見た後に現場見学。発電原理は学園で習ったとおり。熱膨張力でガスタービンを作動させ、排熱でさらに、蒸気を作り、蒸気タービンも作動させる、ダブル発電所である。興味を引いたのは6つのM(1、発電出力2600万KW、2、効率59%、3、NCCCSが45PPM程度、環境への負荷が少ない、4、LNG消費量800万t/年、5、東京湾をはさんで東西連携を実施、6、起動停止累計4万回と少ない)、1・2号が温度1100度で運用、3・4号が1500度、もう一基が1300度との事。1500度の効率発電をしているのは世界でもここだけ。中央制御室は13名で3交代5班編成365日稼働。そのため、広大な敷地のわりに、人と会わない。発電タービンは現在も進化を続けているとの事、3・4号機が全て稼働開始するとコンパクトでその出力は最大で504万KWとなる。世界最大の火力発電所となる。煙突の高さも1・2号機は200m、3・4号機は152mとの事。取水の速度も凄い、110t/秒で取水。次は、普通は案内しないLNGタンク上部へ。静電気チェックをし、タンク本体上部へ。ここには10基のタンクがあり、通常は9万kl、大タンクは12万klとの事。デカイ。ガスはオーストラリア、インドネシア、アラブから来るとの事だった。1隻の船からガスを降ろすのに22時間もかかるとは驚きだ。そうなる、天候悪化や台風シーズンには着岸できない。そのため、東京湾に入る条件が風力12m以下、波高12m以下との事。到着して

も太平洋で待機なんて、厳しい。時間をかけておろしたガスも僅か3日で消費。日銭を稼ぐため、イワタニ産業や東電パワーなどに売却している。最後に隣のエネルギーパークも見学、ベンツより高価なソーラーカーを運転し、懇親会場へ。更に嬉しかったのは、見学中一切雨降らなかつた事。悪い天候だったので、参加者に助けられ、天候は持ったのである。帰日も予定通り東電バスで富津火力発電所を15・45出発し、再び「宮島」へ。ここから懇親会。松本支部長の見学後の挨拶、乾杯と続き、宴はスタート。皆様のご意見も、次回も期待しているようである。18時中締めでお開き。電車時刻もあり、送迎バスで君津駅に向かい解散。残念な事に、今まで持っていた天候も帰り際にはとつと降り出した。参加者増と支部発展を念頭に、次回も企画したい。

続々ヒマラヤ前号からのついで

錦稜会 田中豊明

ヒマラヤ山脈の隆起

地図を眺めるのは楽しい。インド東側のベンガル湾に注ぐガンジス川と、ブラマプトラ川があり、西側のアラビア海に注ぐインダス川がある。

そのブラマプトラ川とインダス川を上流に辿っていくと、ヒマラヤ大山脈を包み込むように、背後の手ベツト高原で向かい合う。そこを分水嶺として東西に流れている。

もう一つのガンジス川は、インド北部の平野部を西に辿ると、幾つもの支流がヒマラヤ山脈を突き抜けている。

ヒマラヤの高峰の北斜面の沢は、北に流れてブラマプトラ川か、インダス川に流れ込むのが妥当なのだが。北に向かった流れは、すぐにヒターンをして、高峰の間を南のガンジス川に流れ込む支流が、何本もある。

このような地形は、隆起による造山作用の

速さと、場所の違いによるものと思われる。山の隆起に負けまいと谷を削る水流と、隆起のせめぎ合いがあるのだろう。

ヒマラヤが高くなるにつれ、インド洋から送り込まれたモンスーンが加勢をして、深い谷を作り上げたのだらう。モンスーンの影響を受けにくい、手ベツト高原を流れる、ブラマプトラ川とインダス川は、水流が隆起に負けて東西に押しやられたのかも知れない。

日本には高い山脈を横切る川は無い。

平成一八年に歩いた、カリガンタキ川沿いのジヨムソン街道は、アンナプルナとタウラギリの八〇〇〇m峰の間にあり、その間隔は東西三〇kmである。谷の標高は二〇〇〇mである。谷の深さは六〇〇〇mで、両岸は屏風のように切り立っている川の淵の小道であった。

氷河について

氷河は、降水が常に雪となる標高(雪線と言ふ)以上の所で降った雪が圧縮されて生産される、氷の状態での流れです。

エベレストの付近では六〇〇〇m以上の所のこの付近の雪線は五五〇〇m位で生産され、下流四五〇〇m付近で消費される。

大きな氷河の長さは二〇km以上、小さなもので一〜二kmはある。

標高の高い所で生産された氷河は、白く輝いている。

中流域の急斜面では、地形の変化に応じてクレバスが出来たり、砕けたり、ときには、氷瀑となり雪崩落ちる。トレッキング中に三度、雪崩を目撃したが、ながい時間雪煙を上げて、雪崩れていた。

大きく長い氷河の消費域では、氷の上に両サイドの山から、崩落した岩石が一面に覆っている。地質の違いが色違いの模様様になっている。上流から運ばれてきた、大きな岩塊が沢山あり、随所にクレバスの穴がある。スポン・カット状の氷が蒼く輝いている。

氷河の消費域の最下流では、運ばれてきた岩石で積み上げられた、サイドモレーン(側堆積)が両側に荒川放水路の土手のように続いている。三〇〜五〇m位の高さである。氷河の消滅する所ではモレーン(堆積)の丘がある。

流速は一〇m/年〜一〇〇m/年位で、クーンブ氷河のアイスホール(氷瀑)の付近では一五〜二〇m/日が観測されている。

氷河を生産する雪はおもに雨期(五月〜九月)に降る、乾期(九月〜五月)は好天続きでトレッキングの好期である。

日本の山では、氷河期の名残の小さな氷河であるカール(圈谷)地形が、南、北、中央アルプス等の随所にあり、はっきりとしたモレーンの丘がある。立山の山崎カール、穂高岳の涸沢、宝剣岳の千畳敷カール、仙丈岳の敷沢カール等が知られている。

日本の山の標高が一〇〇〇乃至二〇〇〇m程高ければ、立派な氷河があることだろうと思うと残念である。

高山病対策

国内の山では、高山病を意識したことはなかった。富士山で軽い頭痛を感じた程度であった。

でも、富士登山の最盛期には、一日に二〇人位の人が、高山病の症状で富士山の診療所に来ることごと。

槍ヶ岳では毎年数人が高山病になり、ヘリコプターで降ろされているとのこと。

ヒマラヤのエベレスト山域では、毎日のようにトレッカーが、ヘリで降ろされ、毎年数人の死者が出ているとのことである。

このように高山病になって仕舞えば、登山もトレッキングも台無しである。

高山病は、大気の酸素濃度の低下により生ずる、様々な症状の総称である。

高山病の発症の仕方には、個人差が大きく、

老若男女の別、登山経験の有無には関係無く現れる。ヒマラヤ・トレッキングには高山病の予防策が大切である。

予防には、事前に高い山(富士山等)に登り、身体を高度に順応させる。予防薬として「ダイアモックス」を服用すると効果がある。

登高には、ゆっくり、ゆっくり(「スタースターリ、ビスターリ」)登り、つねに深呼吸を心がける。マイペースを守り無理をしない。水分を充分取り、小便をよくする。

エベレスト街道では、おおよそ八〇〇m登る毎に、停滞日をつくと良い。その折、高度順応のため、少し高い所への散歩をする。昼寝等は禁物で、少し身体を動かすことの方が大切である。

鶴のヒマラヤ越え

鶴が上昇気流に乗って、ヒマラヤ山脈を越える話がある。

その現場の近くのチベットに食い込んでいる、ムスタン地区に行ったとき考えた。

鶴の群れは、ヒマラヤが年に数ミリ隆起していることに、気が付いて無いのだろう。ヒマラヤが海だつたころの、鶴の御先祖様のころから、毎年「去年と同じ」だと思って飛んでいたら、何時の間にか、七千米を越えて飛んでいたのだらう。だから鶴は、今でも「去年と同じ」だと思ってヒマラヤ越えをしているのだと思う。

トレッキング中は余暇が多い。こんなたわいのないことを考えて暇をつぶしているのも楽しい一時でもある。

第三十九回千葉県支部通常総会報告

副支部長 花井 卓郎

平成二十一年六月三日(土) 母校の千葉ニュータウンキャンパスにて第三十九回通常総会を開催しました。出席者は来賓八名、校友四十八名でした。

総会に先立つ公開講演会は第一部が元学長工学博士 小谷名誉教授により「幼児教育から認知症予防まで」と題して行われ、脳細胞を社会で活躍できるように育てるためには幼児教育が大切であること、また高齢者になっても良い生活習慣を心がけ実行することが認知症の予防になるなど興味深い内容が分かり易く解説されました。引き続き第二部で「子育て支援について」と題して小谷博士医学博士による産後の母親と赤ちゃんに快適な育児環境を実現するための研究について講演が行われました。話題性のある演題により、一般の方四〇名の参加も得て、大盛況でした。

講演後の総会には司会者による総会成立宣言後、最初に松本支部長より①東京千住キャンパスの概略説明②支部役員に若手の登用③支部だよりの発行継続④埼玉、神奈川、千葉の3支部長懇談会の実施⑤見学会への参加要請等支部方針の説明と今総会に対する関係各位のご協力への感謝があり、次いで、加藤学園理事長のメッセージが小谷元学長によって代読され、創立一〇〇周年記念事業への協力に対するお礼と東京千住キャンパス創設事業募金への協力のお礼がありました。また、石塚校友会理事長挨拶では、少子高齢化の中で母校を発展させていくために卒業生からの支援の必要性、校友会一〇〇周年を迎え先輩諸氏への感謝等が有りました。

引き続き議事に入り、平成二十一年度事業・決算報告、監査報告、平成二十一年度事業計画・予算案、役員改選案等の審議が行われ、いずれも原案通り承認されました。

総会後、教育棟外階段で記念撮影を行い、二階学生食堂に移り、懇親会に入りました。ご来賓として小谷元学長様、田窪学部長様、浅見創立一〇〇周年推進本部次長様、石塚校友会理事長様、稲毛常務理事様、小林大学同窓会長様、斎藤事務部長様、山村事務課長様

をはじめ多数の方のご臨席を賜り、小林大学同窓会長様のご挨拶、続いて、田窪学部長様のご挨拶と乾杯のご発声でスタートしました。会場には沢山の飲み物、食事が用意され、一年ぶりの再会を喜ぶ等会話も弾み、和やかに楽しいひとときを過ごし、閑相談役の一本締めにて閉会となりました。

最後に、校友会事務局、千葉キャンパス事務部の皆様には大変お世話になりましたことに心より厚く御礼申し上げます。

習志野市の紹介

松本 武

私は習志野市に住んで25年になりますが、すごく良い街なのでその一部を紹介いたします。

1、谷津干潟

1993年6月にラムサール条約登録地となったこの湿地は、数千羽の渡り鳥(主にカモ、チドリ、サギなど)が羽を休める場所となっている。満潮時は東京湾の海水が流入して満たされ、干潮時は砂地が顔を出す。ラムサール条約加盟前は八ヶ岳大会なども行われていたが、今では湿地内全ての生物の捕獲が禁止されているため、「かに・貝・コカイ・小魚」が多数生息している。鳥たちの格好の餌場となっている。干潟の周囲は約3.5kmの遊歩道が整備されているので、バードウォッチングを楽しみながら散策する人、ジョギングをする人で賑わっている。

2、谷津バラ園

京成谷津駅のそばに昭和32年に開園した市営のバラ園がある。世界のバラ700種、7,000株。見頃は5月と10月でゆっくり散策できる。バラ園入り口のそばに「読売巨人軍発祥の地」の碑がある。川上、青田、千葉、長嶋、王など有名な選手、監督の手形のタイルが展示されている。

3、習志野山楽会

習志野市では市民交流の場として、市民力レジャー趣味のサークルなどいろいろな活動をしている。私は「習志野山楽会」に入会して約4年、この会は毎月一回の山登りを行っている。冬の間は低山のハイキング、春と秋は標高2,000m程度の花や紅葉のきれいな山、夏は本格的な登山もしている。平均年齢65歳の会でほとんどが日帰り登山です。夏には山小屋に泊る登山もします。小型のバスをチャーターして早朝に出発、下山後は近くの温泉に浸り、ビールを一杯。今までの登山で印象的な山は白馬岳、燕岳、常念岳、早池峰山、那須三本槍などがあり、会員相互の親睦に役立っている。

千葉県支部総会と講演会

および懇親会の案内

◎講演会：無料(一般公開ですので、おなたでも聴講できます)
日 時：平成22年6月12日(土)
11:00~12:30 受付 10:15~

会 場：東京電機大学 千葉ニュータウンキャンパス教育棟
演 題：「気を科学する」
講 師：東京電機大学名誉教授
工学博士 町 好雄先生

◎第40回総会 引き続き同場所で開催します
時 間：12:40~13:30
◎懇親会 同キャンパス学生食堂
時 間：13:50~15:30
会 費：¥3,000

編集後記

13号には田中豊明さんの「続々ヒマラヤ」の続編全てを載せることが出来ましたが、凄く楽しい内容です。

今年役員改選の年です、総会で選出されました新役員の名簿は、次号に掲載する予定です。